### 有料道路事業に関する事業評価 に係るバックデータ

近畿自動車道名古屋神戸線 (大津JCT〜城陽) (城陽〜高槻JCT)

### 様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	近畿自動車道名古屋神戸線(大津JCT~城陽)
事業主体	西日本高速道路株式会社

### ●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性		事業全体: 費用便益比 (B/C) = 2.0 経済的純現在価値 (B-C) = 5.097億円 経済的内部収益率 (EIRR) = 8.5% 残事業 : 費用便益比 (B/C) = 2.3 経済的純現在価値 (B-C) = 5.946億円 経済的内部収益率 (EIRR) = 11.1%

### ●事業の効果や必要性を評価するための指標

践	策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリ ティの確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間及び削減率	洗漆損失時間(整備前):13.873百万人:時間/年 洗漆損失刺減時間 :19百万人:時間/年(前):245(196)
		■ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道1号:京都市下京区(8.0km/h) 他30箇所 国道307号:京田辺市草内五反田(7.3km/h) 他6箇所
		■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるパス路線が存在する又は新たなパス路線が期待できる。	現名神からの新名神への路線転換が照待される 関東・中部⇔中国・四国・九州
		■ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	李治田原町→京都駅(10分短縮)整備前:43分、整備後:33分
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	宇治田原町一大阪空港(18分短縮)整備前:59分、整備後:41分
	物流効率化の支 援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港へのアクセス向上が見込まれる	李治田原町一神戸港(19分短縮)整備前:86分、整備後:77分 李治田原町一大阪港(15分短縮)整備前:88分、整備後:73分
		■ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	李治素(李治田原町)、花しょうぶ(城陽市)など
	都市の再生	ロ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 三大都市圏の環状道路を形成する	
		■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	新市街地整備計画、城陽市東部丘陵地整備計画
	国土・地域ネッ トワークの構築	■ 当鉄路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	拠点都市 (大津⇔奈良)を連絡
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	平治田原町→大阪市 (24分短箱) 整備前:74分、整備後:50分
	個性ある地域の 形成	■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	京都城陽白板テクノバーク、久世荒内・寺田塚本地区土地区画登理事業
		■ I C等からアクセスが向上する主要な観光地が存在する	石山寺(大津市)、宇治田原宗円の郷(宇治田原町)、平等院(宇治市)、青梅梅林(城陽市)など
		■ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	木津川右岸運動公園

政	策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
2. 暮らし	安全で安心でき るくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	李治田原町→京都赤十字第一病院(9分短縮) 整備前:36分、整備後:27分
3. 安全	安全な生活環境 の確保	並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少により、当該 区間の安全性の向上が期待できる。	
	災害への備え	対象区間が、都適府県地域防災計画、緊急輸送適路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づ □ けがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位 置づけあり、	
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	草津JCT一神戸JCT:名神高速道路
		■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	草津JCT⇔神戸JCT 名神高速道路·中国自動車道経由⇒新名神高速道路経由
		■ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	名神高速道路:八日市~竜王(連続雨量200mm)、竜王~京都東(連続雨量250mm) 国道:号:大津市音羽台~追分町(連続雨量200mm)、京都市山科区北花山~東山区清閑寺(連続雨量230mm)
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からの002排出量	接出削減量: 3万1/年、排出削減率: 0.02%
	生活環境の改 善・保全	○ 並行区間等における自動車からのWO2排出削減率	
		● 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	排出削減量: 81/年、排出削減率: 0.03%
		■ 並行区間等で騒音レベルが夜間要誘限度を超過している区間について、新たに要誘限度を下回ることが期待される区間がある	国道1号:大津市大谷町他2箇所
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトと の関係	□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	京都南部地域の地域防災拠点と高速道路ネットワークとの連携

費用便益分析の結果

現拡・BP・その他の別 様式一2 6 車線化 夏夏 1女给夕

	西日本高速道路㈱	9	56, 600~59, 300
	事業主体	革線数	計画交通量 (台/日)
高速自動車国	L=25km	大津JCI~城陽	近畿自動車道 名古屋神戸線
爭業種別	姓長	事業名	路祿名

Щ <del>回</del>

盐		7,097億円	6, 456億円	5,311億円	4, 460億円
҉⊓		7, (	9 '9	5,3	7 '7
維持管理費	令和元年度	1,667億円	1, 912億円	566億円	591億円
維持	令和	1, 60	1, 9	99	36
費		)億円	4億円	6億円	)億円
事業		5, 430億円	4, 544億円	4, 745億円	3,869億円
			,	29	,
	基準年	単純合計	うち残事業分	基準年における 現在価値(C)	うち残事業分

②便益

습 計			355億円	10, 408億円	10, 408億円
交通事故 減少便益	令和元年度	令和13年度	4億円	118億円	118億円
走行経費 減少便益	令和:	令和6年度、	17億円	504億円	504億円
走行時間 短縮便益			334億円	9, 786億円	9, 786億円
	幸 幸 霍	供用年	単年便益 (初年便益)	基準年における 現在価値(B)	うち残事業分

③ 結果

費用便益比(事業全体)	2.0
経済的純現在価値(事業全体)	5, 097億円
経済的内部収益率(事業全体)	8.5%
費用便益比(残事業)	2.3
経済的純現在価値(残事業)	5, 948億円
経済的内部収益率(残事業)	11.1%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	56, 600~59, 300	±10%	1.8~2.2
事業費	5,430億円	±10%	1.8~2.2
事業期間	34年	土1年	1.9~2

④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

1		ı	ı	
	費用便益比(B/C)	2.1~2.6	2.1~2.6	2.3~2.4
	変動ケース	±10%	±10%	十1年
ハグナホにどっかり	事業費	56, 600~59, 300	4, 544億円	11年
ミスメの	変動要因	交通量	事業費	事業期間

### 交通状況の変化(事業全体)

様式-3①

## 事業名:近畿自動車道名古屋神戸線(大津JCI~城陽)

(推計時点 R12年)

(		整備なし(A)	整備あり(B)
本子 本子時間   本子 本子 中間   本土 中国   本土 中国	[中/日]	ī	57, 400
Aph 高速     左行時間費用       Sph 高速     交通量       39. 6km     走行時間       Act     左行時間費用       Act     左行時間費用       Person     左行時間費用       Act     左行時間費用       Act     左行時間費用       Act     左行時間費用       Act     左行時間費用       交通量     交通量       Act     左行時間費用       交通量     左行時間費用       交通量     左行時間費用       交通量     左行時間費用       左右時間費用     左右時間費用       左右時間     左右時間       左右時間     左右時間       左右時間     左右時間		Î	14
交通量   交通量   交通量   を行時間   139.6km   走行時間   17.5km   左行時間   17.5km   17.5	l費用 <sup>※3</sup> [億円/年]	1	188
	[号/日]	79, 800	50, 800
33. 0km 走行時間費用   六ス: 支通量   パス: 走行時間   21. 5km 走行時間   四道日 左行時間   5. 4km 走行時間   四道307 走行時間   号: 46km 走行時間費用   交通量 交通量   交通量 左行時間費用   交通量 左行時間費用   表面量 左行時間費用   表面量 左行時間費用		59	27
交通量   パス: たパラ を行時間   パス: た行時間   上行時間   立通量   な適量   おんける   本行時間費用   交通量   本行時間費用   キ・46km   を適量   交通量   を適量   表行時間   表行時間   表示時間   表示時間	引費用 [億円/年]	490	282
(ペスペン: 走行時間 21.5km 左行時間費用 五道1 交通量 43.4km 走行時間費用 交通量 次通量 次通量 支通量 次通量 を行時間費用 交通量 交通量 交通量 を行時間費用 交通量 を行時間費用 を行時間費用	[号/日]	50, 000	32, 900
L1. UMIII 走行時間費用   B直 交通量   59: 4km 走行時間費用   B国道307 走行時間   号: 46km 走行時間費用   交通量 左行時間費用   交通量 左行時間費用   表面量 左行時間費用		15	15
交通量   4cm 走行時間   4cm 走行時間   5cm 交通量   5cm 左行時間費用   5cm 左行時間費用   5cm 左行時間費用   5cm 左右時間   5cm 左右時間	引費用 [億円/年]	160	101
95.4km 26.4km 走行時間費用 交適量 第2.3cm 左行時間費用 57.4ckm 走行時間費用 交適量 左行時間費用 交通量 左行時間費用 交通量	[号/日]	38, 100	37, 700
+0. +Mill 交通量 号:46km 左行時間 左行時間費用 交通量 左行時間費用 左行時間費用		133	131
交通量 走行時間 走行時間費用 交通量	引費用 [億円/年]	1, 030	1, 004
走行時間 走行時間費用 交通量 走行時間	[号/日]	10, 300	10, 600
引費用 調		107	107
=======================================	引費用 [億円/年]	250	259
	[号/日]		
	[分]		
走行時間費用	引費用 [億円/年]		
③その他道路合計:   走行時間費用   [億円/: 30,506.3km	引費用 [億円/年]	221, 034	220, 527

3

走行時間短縮便益 (A - B)	603	
走行時間費用 整備あり(B)	222, 362	
走行時間費用 整備なし(A)	222, 964	
	[億円/年]	
	走行時間短縮便益	
	合計:30,681.9km	

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名:近畿自動車道名古屋神戸線(大津JCI~城陽)



費用便益分析の条件

日文書とから木干

·城陽)	
~ LOC#	
戸線(大)	
古屋神	
動車道名	
近畿自動	
事業名:	
tedt	(2)

	D FE	1
		ナエツング側
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	•
	分析対象期間	50年間
分析の基本的事項	社会的割引率	4%
	基準年次	R1
交通流の	1時点のみ推計	■(R12)
推計時点	複数時点での推計	
	整備の有無それぞれで交通流を推計	
ロボラドギ	整備の有無のいずれかのみ推計	
推訂の化沈	いずれかのみ いずれかのみの推計とした理由を記載 の推計の場合	
	道路交通センサスをベースとした自動車OD表	
本当り田、七	(三段階推定法)	(H22センサス)
推訓に用いた OD表	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階准定法)	
	かの老( )	
	##	
() () () () () () () () () () () () () (	柜	
開発父通軍の 米店	考慮した開発交通量(トリップ数)	日/パパ/日
	有の場合のみ   考慮した理由を記載	
	ロー/ 式を用いた配分	
	転換率式を用いた配分	
	ローンボン転換率式の併用による配分	
	大谷子 はんしょう かんしょ 日本 女田 トト 野 かり	
	43例即カランプライターネノイ関数で用いて即カ/衛ョナ:	
野分や通量の	同の十五一小日本市帯ボナフ	
記 2 分 日 1	17. 紀代中末にのる 簡易手法の 二語 おたまが またい	
[	採択理由   山间部海岸部で併行道路か少ない	]
	<u>Cの他(</u>   簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
		•
	ての他( 同体転換件以付用付用合う機能が十法)	
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	
速度設定の		
ሴ ሊያ	最終配分の速度 採用理由を記載 利用者や衛配分手法の適用に併せて 最終配分の速度を採用	→
	2 (2 )   1   1   1   1   1   1   1   1   1	EXCINIT
	46年(	

事業名:近畿自動車道名古屋神戸線(大津JCT~城陽)

様式-3②

% ш Ш П とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 対象路線のみ考慮 採用した休日係数 作日係数を考慮して理由および採用した休日係数の考え方を記載 ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 その他 冬期の走行速度と交通容量の関係 <sub>設定の考え方を記載</sub> 採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用 算出視拠を添付すること 費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用 算出根拠を落付すること 走行時間短縮・走行 <u>考慮しない</u> 経費減少・交通事故 <u>考慮する</u> 減少以外の便益 中央分離帯の有無を考慮 中央分離帯の有無を考慮しない 面的に考慮 考慮しない 考慮する 考慮する 場合のみ 考慮する 場合のみ 考慮しない 考慮する 場合のみ 考慮する 交通流推計の 時点以外の 便益の算定 災害等による 通行止めの 影響 交通事故減少 便益算定 休日交通の 影響 冬期交通の 影響 車種別時間 価値原単位 車種別走行 経費原単位 その他 便益の算定

事業名:近畿自動車道名古屋神戸線(大津JCT~城陽)

			項目	チェック欄
		詳細事業計画による値を採用	よる値を採用	
	事業費	標準投資パターンを採用	- を採用	
		その他(	(	
	44年年四十	維持管理費の設定根拠を記載	<b></b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	稚村官垤其	実績値をもとに設定	淀	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	寒冷地域である	
		考慮しない		
		考慮する		
	27 世 報 智 表 十二六	<b>集</b>	事業費を考慮	
	<b>当</b> 災道路知価が 作れなたに値ぐ	維持	維持管理費を考慮	
	11インインタロの費用	考慮する 場合のみ	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	5を記載(対策内容、費用等)
Ψ	その他維持管理	維持管理費には雪氷作業費を含んでいる	を含んでいる	
4	その他			
1 1				
1				

### 費用の現在価値算定表(事業全体)

様式-4

権持管理費の単純単価の算出

化十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	1 4	#: +/ 9; 	1	í	(生)する 生臭の十	日本公司計画	
圖別名:近畿目劉単道名古座仲戸樑(大澤JCI~敬陽)	名 中暦 年)	           	TC   ~ 類型	第)	(紀第)里東	延長(km) 25	単純価値(億円)
年次	年度	割戾率	GDP 7.71-9	事業費車和価値	(億円) 現在価値	維持管理軍科	費(億円) 現在価値
一27年目		2.3699	117.5	4	6		
一26年目	Ξ	2.2788	116.9	3			
—25年目	H 11	2,1911	115,2	8			
一24年目	H 12	2.1068	113.8	1	13		
	E :	2.0258	112.4	13	24		
日本77		1 94/9	1000	0	6		
日井17	-	0000	103.0	,	7		
19年日	17 0	1 7317	106.7	4 0	,		
118年日	ı H	18651	105.0				
17年日	ĺ	1,6010	105.0				
—16 —	ľ	1 5305	104.4				
—————————————————————————————————————		1 4802	103.0				
一14年目		1 4233	101.3				
—13年目	77 H	13686	8 00				
11000		1 2150	99.0	0	V		
日共71		1.9653	99.0	9 0	k.i.		
п Н С		1 9167	99.0	6			
日 十 日 十 日		11600	101.0	61			
П + 6 –	77	1 1940	103.0	02	70		
日十0		1 0016	102.0	010			
四十,二		1.0816	102.9	218			
三年9—	١	1.0400	102.8	124			
—5年目	٦	1.0000	102.8	334			
一4年目	R 2	0.9615	102.8	169			
一3年日	3	0.9246	1028	958			
一9年目	Ω 4	0880	102.8	1 047			
	2	0.0000	1000	000			
	ים בו	0.0040	102.0	920		00	
智定供用開始年次	2	0.8219	102.8	218		23	31
1年目	R 7	0.7903	102.8	225	173		18
2年目		0.7599	102.8	207	1	23	-
3年目	8 8	20820	102.8	111			
4年目	0	0.7096	102.8	US			1
	ľ	0.7020	102.0	00	4		
田井で	י צו	96/90	102.8	04			21
- 1	12	0.6496	102.8	35			Ľ
完成供用開始年次	R 13	0.6246	102.8			35	21
8年目	٦ 1	9009'0	102.8			35	50
0年目	7	0.5775	1028			35	36
10年1	2	0.000	0000			30	17
111	ב ב	0.000	102.0			000	2
114目	<u>-</u>	0.5339	102.8			35	2
12年目	R 18	0.5134	102.8			32	41
13年日	E 18	0 4936	1028			38	1
1441	000	37270	1000			36	10
1	200	04/4-0	102.0			000	
15年日	71	0.4564	102.8			35	16
16年目	Z2	0.4388	102.8			35	
17年目	R 23	0.4220	102.8			32	7.
18年日	0	0.4057	102 8			35	
10	7 27	10000	102.0			S	
日世紀	Z2	0.3901	102.8			33	Í
20年目	R 26	0.3751	102.8			35	-
21年目	R 27	0.3607	102.8			35	7
日本の	000	03760	1000			36	
H + 77	2 (	0.3400	102.0			50	
23年目		0.3335	102.8			35	
24年目	30	0,3207	102.8			35	_
25年目		0.3083	1028			35	1
日十57	20	2000.0	1000			30	
日 士 0.7	32	0.2903	102.8			33	
2/年目	33	0.2851	102.8			35	1(
28年目	R 34	0.2741	102.8			35	
29年目	35	0.2636	102.8			35	
11111111111111111111111111111111111111		0.002.0	1000			000	
1100 1100 1100 1100 1100 1100 1100 110	ב ב	0.2334	102.0			50	
314日	3/	0.2437	102.8			35	~
32年目	38	0.2343	102.8			35	~
33年目	39	0 2253	1028			35	
244	300	0010	1000			36	
1	۱	0.2100	102.0			3 6	
35年日		0.2083	102.8			33	
36年目	R 42	0.2003	102.8			35	
37年目		0.1926	102.8			32	
38年目	ľ	0.1852	102.8			35	
30年目		0.1780	1028			25	
	۱	00/10	102.0			0 0	
40年目	7 40	0.1712	102.8			33	_
41年目		0.1646	102.8			35	_
日本のグ		0.1593	1000			35	
日本74	ı	0.1583	102.8			33	
43年目		0.1522	102.8			35	.,
44年目		0 1463	1028			35	
10		001.0	0.70			8 6	
45年目		0.140/	102.8			35	,
46年目		0,1353	102.8			35	.,
47年目		0.1301	1028			35	,
11 to 1		1001.0	0.70			S	
48年目		0.1251	102.8				,
49年目	R 55	0.1203	102.8	-639	-75	35	
i				4.790			266
						•	

注1)事業費の投資バターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資バターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資バターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。) 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

5

様式-5

事故減少便益(億円) 現在価値 ③ ③×(A)

走行経費減少便益(億円)

便益の現在価値算定表(事業全体)

総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸/ロック) 乗用車類 | 小型貨物 | 普通貨物 | 全車

割戻率

年度 <sup>(基準年</sup> R1

走行時間短縮便益(億円

暫定供用開始年	×R θ	0.9991	5 0.9864	7 1.4	00662	0.99808	0.8219	102.8	111	40	183	334	267	6	1.4	10	17	14	4		355	284
1年目	R	0.9991			00658	0.99808	0.7903	102.8	185	67	304	556	427	10	2.4	16	28	22	6	5	590	454
2年目		0,9991				0.99807	0.7599	102.8	184	67	302	553	409	10	2.3	16	28	21	6	5	587	434
3年目		0.9991	4 0.9859	0 1.	00649	0.99807	0.7307	102.8	184	67	303	554	394	10	2.3	16	28	20	6	4	588	418
4年目	R 10	0.9991	4 0.9857	0 1.	00645	0.99806	0.7026	102.8	185	67	303	554	379	10	2.3	16	28	19	6	4	589	403
5年目		0.9991	4 0.9854	9 1.	00641	0.99806	0.6756	102.8	185	67	303	554	364	10	2.3	16	28	19	6	4	589	387
6年目	R 12				00637	0.99806	0,6496	102,8	235	66	302	603	381	13	2.3	16	31	20	8	5	641	405
完成供用開始年	欠 R 10	0.9919	7 0.9907	6 0.	99801	0.99265	0.6246	102.8	233	66	301	600	364	13	2.3	16	31	19	8	5	638	388
8年目		0.9919	0.9906	7 0.	99800	0.99259	0.6006	102.8	231	65	300	596	348	13	2.3	16	31	18	8	4	635	371
9年目	R	0.9918	3 0.9905	9 0.	99800	0.99254	0.5775	102.8	229	65	300	593	333	13	2.3	16	31	17	8	4	632	355
10年目		0.9917	7 0.9905	0 0.	99800	0.99248	0.5553	102.8	227	64	299	590	319	13	2.3	16	30	16	8	4	628	339
11年目	R 1	0.9917	0.9904	1 0.	99799	0.99242	0.5339	102.8	225	63	299	587	305	12	2,2	16	30	16	7	4	625	325
12年目	R 18	0.9916	3 0.9903	1 0.	99799	0.99237	0.5134	102.8	223	63	298	584	292	12	2.2	16	30	15	7	4	622	310
13年目		0.9915		2 0.	99798	0.99231	0.4936	102.8	221	62	297	581	279	12	2,2	16	30	14	7	4	618	297
14年目	R 20	0.9914	9 0.9901	2 0.	99798	0.99225	0.4746	102.8	220	61	297	578	267	12	2.2	15	30	14	7	3	615	284
15年目	R 2	0.9914	1 0.9900	2 0.	99798	0.99219	0.4564	102.8	218	61	296	575	255	12	2,1	15	30	13	7	3	612	272
16年目	R 22	0.9913	4 0.9899	2 0.	99797	0.99213	0.4388	102.8	216	60	296	572	244	12	2	15	29	13	7	3	608	260
17年目	R 23	0.9912	6 0.9898	2 0.	99797	0.99206	0.4220	102.8	214	60	295	569	233	12	2	15	29	12	7	3	605	248
18年目	R 24	0.9911	9 0.9897	1 0.	99796	0.99200	0.4057	102.8	212	59	294	565	223	12	2	15	29	12	7	3	602	237
19年目	R 25	0.9911	1 0.9896	1 0.	99796	0.99194	0.3901	102.8	210	58	294	562	213	12	2	15	29	11	7	3	598	227
20年目	R 26	0.9910	3 0.9895	0 0.	99796	0.99187	0.3751	102,8	208	58	293	559	204	12	2	15	29	11	7	3	595	217
21年目	R 2	0.9909	5 0.9893	9 0.	99795	0.99180	0.3607	102.8	206	57	293	556	195	11	2	15	29	10	7	2	592	208
22年目		0.9908				0, 99174	0,3468	102.8	204	57	292	553	187	11	2	15	29	10	7	2	588	199
23年目	R 29	0.9907	0.9891	6 0.	99794	0.99167	0.3335	102.8	203	56	291	550	178	11	2	15	28	9	7	2	585	190
24年目		0.9906				0.99160	0.3207	102.8	201	55	291	547	171	11	2	15	28	9	7	2	582	182
25年目	R 3	0.9906	1 0.9889	2 0.	99793	0.99153	0.3083	102.8	199	55	290	544	163	11	2	15	28	8	7	2	579	174
26年目	R 32	0.9905	2 0.9887	9 0.	99793	0.99145	0,2965	102.8	197	54	290	541	156	11	2	15	28	8	7	2	575	166
27年目		0.9897				0.99312	0.2851	102.8	195	54	290	539	149	11	2	15	28	8	7	2	573	159
28年目	R 34	0.9896	1 0.9927	3 1.	00188	0.99307	0,2741	102.8	193	53	291	537	143	11	2	15	28	7	7	2	571	152
29年目	R 35	0.9895			00187	0.99302	0.2636	102.8	191	53	291	535	137	11	2	15	28	7	6	2	569	146
30年目		0.9893				0.99297	0.2534	102.8	189	53	292	533	131	10	2	15	28	7	6	2	567	140
31年目		0.9892				0. 99292	0,2437	102.8	187	52	292	531	126	10	2	15	27	7	6	2	565	134
32年目		0.9891				0.99287	0.2343	102.8	185	52	293	529	121	10	2	15	27	6	6	1	563	128
33年目		0.9890				0. 99282	0.2253	102.8	183	51	293	528	116	10	2	15	27	6	6	1	561	123
34年目		0.9889				0.99277	0.2166	102.8	181	51	294	526	111	10	2	15	27	6	6	- 1	559	118
35年目		0.9888				0. 99271	0.2083	102.8	179	51	295	524	106	10	2	15	27	5	6	1	557	113
36年目		0.9886				0.99266	0.2003	102.8	177	50	295	522	102	10	2	15	27	5	6	1	555	108
37年目		0.9885				0.99261	0.1926	102.8	175	50	296	520	97	10	2	15	27	5	6	1	553	104
38年目		0.9884				0.99255	0.1852	102.8	173	49	296	518	93	10	2	15	27	5	6	1	551	99
39年目		0.9882				0.99250	0.1780	102.8	171	49	297	516	89	9	2	15	27	5	6	1	549	95
40年目		0.9881				0.99244	0.1712	102.8	169	49	297	515	86	9	2	16	27	4	6	1	547	91
41年目		0.9879				0.99238	0.1646	102.8	167	48	298	513	82	9	2	16	26	4	6	- 1	545	87
42年目			5 0.9919			0. 99232	0.1583	102.8	165	48	298	511	79	9	2	16	26	4	6	1	543	84
																				1		80
									160											1		77
45年目							0.1407	102.8	158	47	300	505	69	9		16	26	4	6	i	537	73
																				1		70
47年目							0.1301	102.8	154	46	301	501	63	9	2	16	26	3	6	i	533	67
48年目			9 0.9914			0.99195	0.1251	102.8	152	46	302	500	61	8	2	16	26	3	6	1	531	65
									150	45	302	498	58	8	2	16	26	3	6	i	529	62
승 화		1	1	Τ.			1	i		2.776			9,786			768		504		118		10.408
43年目 44年目 45年目 46年目 47年目 48年目 49年目	R 49 R 50 R 51 R 52 R 53	0.9877 0.9875 0.9873 0.9872 0.9870 0.9868	0.9918 4 0.9917 9 0.9917 2 0.9916 6 0.9915	4 1.1 7 1.1 0 1.1 3 1.1 6 1.1	00183 00182 00182 00182 00182 00181	0. 99226 0. 99220 0. 99214 0. 99208 0. 99202	0.1522 0.1463 0.1407 0.1353 0.1301	102.8 102.8 102.8 102.8 102.8	162 160 158 156 154 152	47 47 47 46 46 46 46 45	299 299 300 301 301 302	509 507 505 503 501 500	75 72 69 66 63 61 58	9 9 9	2 2 2 2 2 2 2 2	16 16 16 16 16 16	26 26 26 26 26 26 26	4 4 4 3 3 3 3	6 6 6 6	1 1 1	541 539 537 535 533 531	

様式-4	単純価値(億円)	質(億円)	现仕価値			19	17	17	16	1 2	21	20			17		_	15		13		12	12	=	10	10	0	6	6	∞ ο	0 00	7	7		,	9			2				1 4	4	4	4 4	4	3	ကြ	591		
	単価の算出 延長(km)	匾。	甲烷间间			23	23	23	23	23	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	32	35	35	35	35	35	35	35	32	35	35	1,912	,	716,1
	維持管理費の単純 単価(億円)	(億円)	现在1面1億 647	861	772	174	153	79	41	42																																								3,869		1
	<u>.                                 </u>	業費(		958	928	218	222	111	09	35	3																																			1				4,544	7 5 7 7	4,044
( <b>業</b>	動車道名古屋神戸線(大津JCT~城陽)	GDP,	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.0		1
表(残事	戸線(大津	割戾率	0.9615	0.9246	0.8548	0.8219	0.7599	0.7307	0.7026	0.6756	0.6246	9009.0	0.5553	0.5339	0.5134	0.4936	0.4564	0.4388	0.4220	0.4037	0.3751	0.3607	0.3468	0.3333	0.3083	0.2965	0.2031	0.2636	0.2534	0.2437	0.2253	0.2166	0.2083	0.2003	0.1852	0.1780	0.1712	0.1540	0.1522	0.1463	0.1407	0.1353	0.1251	0.1203	0.1157	0.1112	0.1028	0.0989	0.0951	10.00		
直算定清	名古屋神		ıK	α σ ε <		α u			R 10		R 13				٦ ر 18																														R 56			R 60				
費用の現在価値算定表(残事業	箇所名:近畿自動車道	ŕ	- 11年日	10年目 9年日		暫定供用開始年次	10年日	一4年目	-3年目	2年日	完成供用開始年次	1年日	3年日	4年目	2年日	7年日	8年目	9年目	10年日	17年日	13年目	14年目	15年日	17年日	18年目	19年日	204日	22年目	23年目	24年目	26年目	27年目	28年目	29年日	31年目	32年目	33年目	35年日	36年目	37年目	38年目	39年日	41年目	42年目	43年目	44年日	46年目	47年目	48年日	49年日 合計	正世帝里沙兒	P.祀尹宋 및 미

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。) 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名:近畿自動車道名古屋神戸線(大津JCT~城陽)

GDP デフレ<del>ー</del>タ 計 (億円) 現在価値 割引率49 総走行台中の年次別伸び率 (近畿内陸ブロック) 乗用車類 小型貨物 普通貨物 全 事故減少便益(億円) 現在価値 3 3×(A 走行経費減少便益(億円 走行時間短縮便益(億円 7,9915 0,38647 1,00652 0,99067 0,99916 0,98607 1,00653 0,99067 0,99016 0,98609 1,00653 0,99067 0,99914 0,98509 1,00653 0,99807 0,99914 0,98509 1,00649 0,99807 0,99914 0,98509 1,00649 0,99807 0,99914 0,98509 1,00649 0,99807 0,99914 0,98509 1,00641 0,99806 0,99914 0,98508 1,00641 0,99806 0,99914 0,98508 1,00641 0,99806 0,99917 0,99076 0,990808 0,990808 0,990808 0,990808 0,990808 0,99080 0, 定供用開始 1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 379 364 381 589 589 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目 300 300 299 299 298 297 0.99190 0.99067 0.99800 0.99183 0.99059 0.99800 0.99259 0.99254 231 229 227 225 223 221 0.99183 0.99059 0.98000 0.99263 0.99177 0.99050 0.98000 0.99263 0.99170 0.99041 0.99799 0.99242 0.99163 0.99031 0.99799 0.99243 0.99163 0.99031 0.99799 0.99237 0.99164 0.99022 0.99798 0.99237 0.99144 0.99012 0.99798 0.99237 0.99144 0.99012 0.99798 0.99279 0.99134 0.98927 0.99797 0.99260 0.9919 0.99389 0.99797 0.99260 0.9919 0.99389 0.99797 0.99260 0.9919 0.99389 0.99797 0.99260 0.9919 0.99389 0.99797 0.99260 0.9919 0.99389 0.99797 0.99260 0.9919 0.99381 0.99796 0.99194 0.99103 0.98891 0.99796 0.99194 0.99103 0.98891 0.99796 0.99194 0.99103 0.98916 0.99796 0.99194 0.99103 0.98916 0.99796 0.99194 0.99103 0.98916 0.99796 0.99194 0.99103 0.98916 0.99796 0.99197 0.99095 0.98916 0.99795 0.99180 0.99095 0.98916 0.99795 0.99183 0.99095 0.98916 0.99794 0.99167 0.99095 0.98916 0.99794 0.99167 0.99095 0.98916 0.99793 0.99153 0.99912 0.99278 1.00188 0.99312 0.99957 0.99278 1.00188 0.99312 319 305 292 279 14年目 15年目 16年目 17年目 18年目 19年目 20年目 21年目 23年目 24年目 296 296 187 178 292 291 291 166 159 0 98961 0 99273 1 00188 0 98950 0 99267 1 00187 0 98939 0 99262 1 00187 0 98928 0 99256 1 00187 0.99307 0.99302 0.99297 0.99292 0.98928 0.99256 0.98916 0.99251 0.98904 0.99251 0.98892 0.99239 0.98890 0.99234 0.98867 0.99228 0.98854 0.99222 0.98841 0.99216 0.98827 0.99209 0.98873 0.99209 0.98736 0.99190 0.98770 0.99190 0.98770 0.99190 0.99287 0.99282 0.99277 0.99271 0.99266 0.99261 0.99255 0.99250 0.99244 0.99238 1.00186 1.00186 1.00185 35年 36年 37年 38年 39年 39年 40年 1.00184 1.00184 1.00184 1.00183 1.00183 40年目 41年目 42年目 49 48 297 298 44年目 45年目 0.98754 0.99177 0.98739 0.99170 1.00182 1.00182 0.99220 0.99214 299 300 0. 98722 0. 99163 1. 00182 0. 98706 0. 99156 1. 00181 0. 98689 0. 99149 1. 00181 0. 98672 0. 99141 1. 00181 0. 99208 0. 99202 0. 99195 0. 99189

様式-5

### 様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	近畿自動車道名古屋神戸線(城陽~高槻JCT)
事業主体	西日本高速道路株式会社

### ●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 使益が費用を上回っている	事業全体: 費用便益比 (B/C) =1.7 経済的終現在価値 (B−C) =4,934億円 経済的内部収益率 (EIRR) =6.8% 残事業 : 費用便益比 (B/C) =2.9 経済的終現在価値 (B−C) =7,660億円 経済的内部収益率 (EIRR) =13.0%

### ●事業の効果や必要性を評価するための指標

B	<b>対策目標</b>	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリ ティの確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間及び削減率	洪滞損失時間(整備前):13.880百万人・時間/年  洗滞損失射減時間 = 20百万人・時間/年 (削減率0.2%)  (13.880百万人・時間/年一13.880百万人・時間/年)
		■ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道1号: 校方市西中接(11.0km/h) 她22箇所 国道17号: 大山崎(10.0km/h) 他1伯所 国道17号: 女分市杉(9.4km/h) 她随所
		■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる。	現名神からの新名神への路線転換が期待される 関東・中部⇔中国・四国・九州
		■ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	城陽市一京都駅(11分短網)整備前: 42分、整備後: 31分
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	城陽市一大阪空港(19分短縮) 整備前:58分、整備後:39分
	物流効率化の支 援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港へのアクセス向上が見込まれる	城陽市一神戸港(19分短縮) 整備前:95分、整備後:76分
		■ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	花しょうぶ、梅(城陽市)、田辺なす(京田辺市)など
	都市の再生	口 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		■ 三大都市圏の環状道路を形成する	関西大環状道路の一部を形成
		ロ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	国土・地域ネッ トワークの構築	■ 当鉄路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	拠点都市(奈良⇔高規)を連絡
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	城陽市一大阪市(15分短縮) 整備前:63分、整備後:48分
	個性ある地域の 形成	■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業、高城市成合南地区、関西文化学術研究都市
		■ I C等からアクセスが向上する主要な観光地が存在する	平等院(宇治市)、石清水八幡宮(八幡市)、いましろ 大王の杜など
		□ 新規整備の公共公益施設へ直轄する道路である	

i	<b>文策目標</b>	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
2. 暮らし	安全で安心でき るくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	城陽市一大阪大学医学部附属病院(13分短絡) 整備前:40分、整備後:27分
3. 安全	安全な生活環境 の確保	□ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少により、当該 区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づ 町 けがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位 置づけあり	京都府緊急輸送道路ネットワークにおいて城陽~八幡京田辺間の位置づけあり
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	草津JCT一神戸JCT:名神高速道路
		■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	草津JCT⇔神戸JCT 名神高速道路 中国自動車道経由⇒新名神高速道路経由
		■ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	名神高速道路:京都東~豐中(連続雨量280mm)
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からの002排出量	接出削減量: 5万1/年、排出削減率: 0.02%
	生活環境の改 善・保全	○ 並行区間等における自動車からのMO2排出削減率	
		● 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	排出削減量: 12℃年、排出削減率: 0.04%
		■ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	国道1号: 京都市南区上島羽鴨田 他7箇所 国道171号: 三島郡島本町江川 他1箇所
		ロ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェウトとの関係	□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

### 費用便益分析の結果

現拡・BP・そ の他の別	<b>沿</b> 機車9
事業種別	高速自動車国道
延長	L=14km
事業名	城陽~高槻JCT
路線名	近畿自動車道 名古屋神戸線

	路無
事業主体	想東軍皇本日妃
車線数	9
計画交通量 (台/日)	3, 800~56, 500

### ①費用

음 計		7,741億円	5,512億円	6,842億円	4, 116億円
維持管理費	令和元年度	943億円	1, 082億円	320億円	334億円
事業		6, 798億円	4,431億円	6,522億円	3,782億円
	基準年	単純合計	うち残事業分	き準年における 現在価値(C)	うち残事業分

### ②便益

습 計			413億円	11, 777億円	11,777億円
交通事故 減少便益	<b>令和元年度</b>	令和13年度	3億円	87億円	87億円
走行経費 減少便益	- 令和:	令和6年度、	18億円	528億円	528億円
走行時間 短縮便益			392億円	11,162億円	11,162億円
	基準年	供用年	単年便益 (初年便益)	基準年における 現在価値(B)	うち残事業分

### ③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1.7
経済的純現在価値(事業全体)	4, 934億円
経済的内部収益率(事業全体)	6.8%
費用便益比(残事業)	2.9
経済的純現在価値(残事業)	7,660億円
経済的内部収益率(残事業)	13.0%

# 注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感 度 分 析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	43, 800~56, 500	±10%	1.5~1.9
事業費	6,798億円	±10%	1.6~1.9
事業期間	33年	土1年	1.7~1.7

### ④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
	43, 800~56, 500	±10%	2. 6∼3. 1
費	4, 431億円	±10%	2. 6~3. 2
業期間	11年	土1年	2.9~2.9

### 交通状況の変化(事業全体)

様式-3①

# 事業名:近畿自動車道名古屋神戸線(城陽~高槻JCI)

(推計時点 R12年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
一件配清股	女/标唱~~	交通量※1	[号/日]	ı	47, 000
対版を記しる。   対象を記載しては、 はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	1 (表別) C T ):	走行時間※2	[分]	ı	6
14.	14. ZKM	走行時間費用※3	[億円/年]	1	94
	力地合油	交通量	[日/日]	75, 700	50, 800
	世紀 記録 記録 記述 記述 記述 に いきょう	走行時間	[4]	28	27
	og. okili	走行時間費用	[億円/年]	459	282
	アジボ早	交通量	[日/日]	35, 600	32, 900
	パス:	走行時間	[4]	15	15
	ZI OKIII	走行時間費用	[億円/年]	112	101
		交通量	[日/月]	48, 900	48, 600
②主な周辺道路※4	(京阪国 道):	走行時間	[4]	117	116
	34. 1km	走行時間費用	[億円/年]	1, 150	1, 127
	五流1	交通量	[日/号]	35, 600	35, 500
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	走行時間	[43]	23	22
	o. ZKIII	走行時間費用	[億円/年]	168	167
	用:着171	交通量	[日/日]	40, 600	40, 400
	a □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	走行時間	[长]	29	29
	12. 4VIII	走行時間費用	[億円/年]	243	240
3その他道路台計 30,551.9km	直路合計: 1.9km	走行時間費用	[億円/年]	220, 917	220, 350

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:30,681.9km   走行時間短縮便	便益 [億円/年]	223, 048	222, 362	687

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

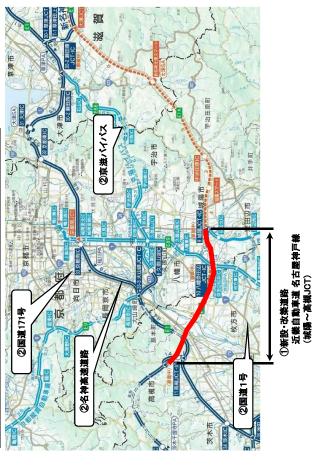
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

.: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名:近畿自動車道名古屋神戸線(城陽~高槻JCT)



### 費用便益分析の条件

事業名:近畿自動車道名古屋神戸線(城陽~高槻JCT)

	1
_	
一大されて言くこ	1
}	i
?	
į	
<u> </u>	1
•	

(		争未名:近哉日刬早退名白侄仲尸絿(枫饧~高椀JC I )	ı
Ŋ		項目	チェック欄
	毎年フー・フニ	7二二アル 海路日	•
	A/ / T - N 王 本	(十成30年2月 国工文通省 道路局 创印局) 40年	
		分析対象期間	50年間
~	分析の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	R1
	交通流の	1時点のみ推計	■ (R12)
_	推計時点	複数時点での推計	
_		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無のいずれかのみ推計   いずれかのみの推計とした理由を記載   の推計の場合	口有 口無
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段略推完法)	■ (H22センサス)
	推計に用いた OD表	パーソントリップ調査をペースとした自動車のD表 (四段階雑弁法)	
_		その他( )	
₩		#	-
啁		柜	
流推社	新光文庫車の 光庫 米庫	考慮した開発交通量(ドリップ数)  有の場合のみ  寿慮した理由を記載	日/℃似号( )
		0-1/11/4 開発 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
		転換率式を用いた配分	
		Q─∨式と転換率式の併用による配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法	
_	配分交通量の	小規模事業である	
	推計手法	簡易手法の 山間部海岸部で併行道路が少ない	
		/ 十二//三彩字字出言日书十字字字二十二/八三》	•
		大の他( 高速転換率式併用利用有効質問が干法 )	
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	
	速度設定の参った		
	77 E	最終配分の速度 採用理由を記載 利用者均衡配分手法の適用に併せて、最終配分の速度を採用	■ ■ ■ ・
		かのも(	

事業名:近畿自動車道名古屋神戸線(城陽~高槻JCT)

様式-3②

% Ш Ш П とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 対象路線のみ考慮 採用した休日係数 作日係数を考慮して理由および採用した休日係数の考え方を記載 ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 その他 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用 算出視拠を添付すること 費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用 算出根拠を落付すること 走行時間短縮・走行 <u>考慮しない</u> 経費減少・交通事故 <u>考慮する</u> 減少以外の便益 中央分離帯の有無を考慮 中央分離帯の有無を考慮しない 面的に考慮 考慮しない 考慮する 考慮する 場合のみ 考慮する 場合のみ 考慮する 場合のみ 考慮しない 考慮しない 考慮する 考慮する 交通流推計の 時点以外の 便益の算定 災害等による 通行止めの 影響 交通事故減少 便益算定 休日交通の 影響 冬期交通の 影響 車種別時間 価値原単位 車種別走行 経費原単位 その他 便益の算定

事業名:近畿自動車道名古屋神戸線(城陽~高槻JCT)

様式-4

費用の現在価値算定表(事業全体)

チェック欄			)								当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)								
項目	詳細事業計画による値を採用	標準投資パターンを採用	その他(	維持管理費の設定根拠を記載	実績値をもとに設定	積雪地域または寒冷地域である	考慮しない	考慮する	事業費を考慮	維持管理費を考慮	考慮する 当該道路整備が行われない場合の費/ 場合のみ		維持管理費には雪氷作業費を含んでいる						
		事業費		44年年田帯	椎杆官埋貨	雪寒費			27 井 华 智 表 十二六	当災道路発偏か にもった だい	11445年130日 の費用	その他	維持管理	その街					
Ĺ							曹	田	6	神	번			4					

延長(km) 単純価値(億円) 維持管理費の単純単価の算出 単価(億円) 箇所名:近畿自動車道名古屋神戸線(城陽~高槻JCT)

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずした各体の予算制物を設まえた上のではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・1事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 習価を実施。)

様式-5

便益の現在価値算定表(事業全体) | \_\_\_ |

箇所名:近畿自動車道名古屋神戸線(城陽~高槻JCT)

	ī	1				1	GDP													合	計
	年度	<b>紗夫</b> 2	行会もロの	年次別伸び	€ उद्यंद	割戻率	テンフレータ		走行時間短	縮便益(億円)				<b>走行祭费</b> 域	少便益(億円)	,		事故減少何	五数(倍田)	-	(億円)
	- 1/文 (基準年)		(近畿内閣		r <del>4:</del>	司庆平	1 10 3		足门时间应	明文重(18日)		現在価値		足11柱复痕			現在価値	中以減少し	現在価値	便益合計	現在価値
年次	R1	乗用車額 //			全 重	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	① #H	①×(A)	乗用車額	小型貨物	普通貨物	② ±+	(A) × (2)	(3)	(3)×(A)	(f)~(3)	割引率4%
哲定供用開始年次	P 6			1. 00662	0.99808	0.8219	102.8	146	41	205	392	313	8	0.6	10	18	15	3	2	413	330
1年日	D 7		. 98628	1.00658	0.99808	0.7903	102.8	237	66	332	635	488	13	1,0	15	30	23	5	1	669	514
2年目	P 8		98609	1.00653	0.99807	0.7599	102.8	236	66	331	633	468	13	1.0	15	30	22	5		668	494
3年月	D 0		. 98590	1.00649	0.99807	0.7307	102.8	238	66	334	638	453	13	1.0	16	30	21	5		672	478
4年目	R 10		98570	1 00645	0.99806	0.7026	102.8	239	67	335	641	438	13	1.0	16	30	20	5		675	461
5年月	D 11		. 98549	1.00641	0.99806	0.6756	102.8	238	66	334	639	420	13	1.0	16	30	20	5		673	443
6年目	D 12		98528	1.00637	0.99806	0.6496	102.8	288	66	332	687	434	16	1.0	16	33	21	6		725	458
完成供用開始年次	D 12			0. 99801	0.99265	0.6246	102.8	286	65	332	683	415	16	1.0	15	32	20	6		721	438
8年目	D 14			0.99800	0.99259	0,6006	102.8	284	65	331	680	397	16	1,0	15	32	19	6		717	419
9年目	D 15			0.99800	0.99254	0.5775	102.8	281	64	330	676	380	16	0.9	15	32	18	6		714	401
10年目	D 16			0.99800	0.99234	0.5553	102.8	279	64	330	672	363	16	0.9	15	32	17	5		710	383
11年目	R 10			0.99799	0.99248	0,5339	102.8	277	63	329	669	347	15	0.9	15	32	16	5		706	367
12年目	D 10			0.99799	0.99242	0.5134	102.8	274	62	328	665	332	15	0.9	15	32	16	5		702	351
13年目				0.99799	0. 99231	0.5134	102.8	272	62	328	662	318	15	0.9	15	31	15	5		698	335
14年目				0.99798	0.99231	0.4746	102.8	270	61	327	658	304	15	0.9	15	31	14	5		695	321
15年目				0.99798	0.99225	0.4746	102.8	267	61	326	654	291	15	0.9	15	31	14	5		691	307
16年目				0.99797	0.99219	0.4388	102.8	265	60	326	651	278	15	0,3	15	31	13	5		687	293
17年目	R 23			0.99797	0.99213	0.4388	102.8	263	59	325	647	266	15	+	15	31	13	5		683	280
18年目				0.99797	0.99200	0.4220	102.8	260	59	323	644	254	15	+	15	31	12	5	2	679	268
19年日				0.99796	0.99200	0.3901	102.8	258	58	324	640	243	14		15	30	12	5	2	676	256
20年目	R 26			0.99796	0.99194	0.3901	102.8	256	58	323	636	232	14	+	15	30	11	5		672	245
21年目				0.99795	0.99180	0.3607	102.8	254	57	322	633	222	14	+	15	30	11	5	2	668	234
22年目	R 28			0.99795	0.99174	0.3468	102.8	251	56	322	629	212	14	i i	15	30	10	5	2	664	224
23年目	10 20			0.99794	0.99167	0.3335	102.8	249	56	321	626	203	14	+	15	30	10	5		660	214
24年目	D 20			0.99794	0.99160	0.3207	102.8	247	55	320	622	194	14	+	15	30	9	5	2	657	205
25年目	R 31			0.99793	0.99153	0.3083	102.8	244	54	320	619	185	14	i i	15	29	9	5	1	653	196
26年日				0.99793	0.99145	0.3365	102.8	242	54	319	615	177	14	+	15	29		5	i i	649	187
27年目	D 33		. 99278	1.00188	0.99312	0.2851	102.8	239	53	320	613	170	13	<del></del>	15	29	8	5	<del>                                     </del>	647	179
28年月	R 34		99273	1.00188	0.99307	0.2741	102.8	237	53	320	610	163	13	i	15	29	8	5		644	172
29年目			. 99267	1 00187	0. 99302	0.2636	102.8	234	53	321	608	156	13	i i	15	29	7	5		642	165
30年目			. 99262	1.00187	0.99297	0.2534	102.8	232	52	322	606	149	13	i	15	29	7	5		639	158
31年目			99256	1.00187	0.99292	0.2437	102.8	229	52	322	604	143	13	i	15	29	7	5		637	151
32年目			. 99251	1.00186	0.99287	0.2343	102.8	227	52	323	601	137	13	i	15	29	6	5	1	634	145
33年目	R 39		99245	1.00186	0. 99282	0,2253	102,8	225	51	323	599	131	13	1	15	28	6	5	i i	632	139
34年目	R 40		99239	1.00186	0.99277	0.2166	102.8	222	51	324	597	126	12	1	15	28	6	5		630	133
35年目			99234	1.00185	0. 99271	0,2083	102.8	220	50	325	594	120	12	i	15	28	6	5	i	627	127
36年目			99228	1.00185	0.99266	0.2003	102.8	217	50	325	592	115	12	i	15	28	5	4	1	625	122
37年日			99222	1.00185	0.99261	0.1926	102.8	215	50	326	590	111	12	i	15	28	5	4		622	117
38年目			99216	1.00184	0. 99255	0.1852	102.8	212	49	326	588	106	12	i	15	28	5	4		620	112
39年目			. 99209	1.00184	0.99250	0.1780	102.8	210	49	327	585	101	12	i	15	28	5	4		617	107
40年目			99203	1 00184	0.99244	0.1712	102.8	207	48	328	583	97	12	i	15	28	5	4		615	102
41年目			99197	1.00183	0.99238	0.1646	102.8	205	48	328	581	93	11	i	15	27	4	4	1	613	98
42年目			99190	1 00183	0.99232	0.1583	102.8	202	48	329	579	89	11	1	15	27	4	4	i i	610	94
43年目			. 99184	1.00183	0.99232	0.1522	102.8	200	47	329	576	85	11	<u> </u>	15	27	4	4		608	90
44年目			. 99177	1.00182	0. 99220	0.1463	102.8	197	47	330	574	82	11	-	15	27	Α.	4	1	605	86
45年目			.99170	1.00182	0.99214	0.1407	102.8	195	46	331	572	78	11	-	15	27	4	4	i i	603	83
46年目			. 99163	1.00182	0.99208	0.1353	102.8	192	46	331	569	75	11	<del></del>	15	27	4	4		600	79
47年目	R 53		. 99156	1.00181	0.99202	0,1301	102.8	190	46	332	567	72	11	i i	15	27	3	4		598	76
48年月	R 54		99149	1.00181	0.99195	0.1251	102.8	187	45	332	565	69	10	i	16	27	3	4		596	72
49年目				1.00181	0.99189	0.1201	102.8	185	45	333	563	66	10	i i	16	27	3	4		593	69
수 화								11.779	2.762	16.219	30.760	11.162	659	41	757	1.456	528	237		32.453	11.777
								, , , , ,	Z,roz	.0,210	20,700	.1,102	000			1,100	020	207		22,100	

様式-4	単純価値(億円)	章(億円)	現在価値			11	10	0	6	6	ω ς	12	11					0	0 0	σ	8	7	/	9	9	9	9 .	t t	2 2	2	5	5	4 4	4	4	4	4 6	n m	3	က	m c	n m	3	8	2	2	2	2	200	2	2	400	
		4  維持管理3	車級価値			13	13	2 (7)	5 2	13	13	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	50	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	1,082	1,082
	維持管理費の単純単価の算出 単価(億円) 延長(km)	(意円)	ŧ	886	850	167	107	37	38	59	63																																								or o	3,782	
		事業費	車純価値	982	1.030	209	139	52	55	68	66																																									4,431	4,431
<b>₩</b>	屋神戸線(城陽~高槻JCT)	GDP	デフレータ 1028	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.0	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8		
長(残事	=繰(城陽・	割戻率	0.9615	0.9246	0.8890	0.8219	0.7903	0.7307	0,7026	0.6756	0.6496	0.6006	0.5775	0.5553	0.5134	0.4936	0.4746	0.4564	0.4300	0.4057	0.3901	0.3751	0.3607	0.3335	0.3207	0.3083	0.2965	0.2851	0.2636	0.2534	0.2437	0.2343	0.2253	0.2083	0.2003	0.1926	0.1852	0.1712	0.1646	0.1583	0.1522	0.1407	0.1353	0.1301	0.1251	0.1203	0.1112	0.1069	0.1028	0.0951	0.0914		
直算定詞	╆ҵ		年度の	R 3	ж 2	R 6			R 10		.	R 1		H 16	R 18									7 Z													л 15 15 15				ж 50								R 59				
費用の現在価値算定表(残事業	<b>廚所名∶近畿自動車道名</b>		年次——11年日	10年目	19年日 18年日	暫定供用開始年次		14年	-3年目	一2年目	一1年日 三ボ併用開始年次	1年目	2年目	3年日	5年目	9年目	7年目	8年日	9年日	11年目	12年目	13年目	14年日	16年日	17年目	18年目	19年目	20年日	22年目	23年目	24年目	25年目	27年目	28年目	29年目	30年目	31年日	33年目	34年目	35年目	36年日	38年目	39年目	40年目	41年日	43年日	44年目	45年目	46年目	48年目	49年目	īa I	单純事業費計

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。) 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名:近畿自動車道名古屋神戸線(城陽~高槻JCT)

GDP デフレ<del>ー</del>タ 事故減少便益(億円) 現在価値 3 3×(A 走行経費減少便益(億円 走行時間短縮便益(億円 | 19915 | 0.3847 | 1.0662 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0.3868 | 0. 4年目 5年目 6年目 461 443 335 334 0.99190 0.99067 0.99800 0.99183 0.99059 0.99800 0.99259 0.99254 284 281 279 277 274 272 331 330 397 380 363 347 332 318 419 401 0.99163 0.99059 0.98000 0.99256 0.99177 0.99059 0.99800 0.99256 0.99177 0.99051 0.98800 0.99256 0.99176 0.99041 0.99799 0.99242 0.99163 0.99031 0.99799 0.99242 0.99163 0.99021 0.99798 0.99237 0.99140 0.99021 0.99798 0.9923 0.99141 0.99002 0.99798 0.9929 0.99143 0.99002 0.99797 0.9926 0.99198 0.99002 0.99797 0.9926 0.99199 0.9939 0.99797 0.9926 0.9919 0.9939 0.9979 0.9926 0.9919 0.9939 0.9979 0.9926 0.9919 0.9939 0.9979 0.9926 0.9919 0.9939 0.9979 0.9926 0.9919 0.9939 0.9979 0.9926 0.9919 0.9939 0.9979 0.9919 0.99103 0.98961 0.99796 0.99194 0.99103 0.98961 0.99796 0.99198 0.99068 0.98927 0.99765 0.99180 0.99068 0.98927 0.99765 0.99180 0.99068 0.98916 0.99794 0.99167 0.99069 0.9906 0.9914 0.99167 0.99059 0.9906 0.99194 0.99167 0.99059 0.98916 0.99794 0.99167 0.99059 0.98916 0.99794 0.99167 0.99059 0.98987 0.99793 0.99153 0.99077 0.99278 1.00188 0.99312 14年目 15年目 16年目 17年目 18年目 19年目 20年目 21年目 327 326 326 658 654 651 647 267 265 30 30 0. 98961 0. 99273 1. 00188 0. 98950 0. 99267 1. 00187 0. 98939 0. 99262 1. 00187 0. 98928 0. 99256 1. 00187 0.99307 0.99302 0.99297 0.99292 0.98928 0.99256 0.98916 0.99251 0.98904 0.99251 0.98892 0.99239 0.98890 0.99234 0.98867 0.99228 0.98854 0.99222 0.98841 0.99216 0.98827 0.99209 0.98873 0.99209 0.98736 0.99190 0.98770 0.99190 0.98770 0.99190 0. 99287 0. 99282 0. 99277 0. 99271 0. 99266 0. 99261 0. 99255 0. 99250 0. 99244 0. 99238 0. 99232 1.00186 1.00186 1.00185 323 324 325 36年目 37年目 38年目 39年目 1.00184 1.00184 1.00184 1.00183 1.00183 40年 41年 42年 48 48 44年目 45年目 0.98754 0.99177 0.98739 0.99170 1.00182 1.00182 0.99220 0.99214 0. 98722 0. 99163 1. 00182 0. 98706 0. 99156 1. 00181 0. 98689 0. 99149 1. 00181 0. 98672 0. 99141 1. 00181 0. 99208 0. 99202 0. 99195 0. 99189 192 190 187

14